

外国人のための相談会

難民認定申請の有無

→申請中:101人

相談者が同居している人数

→合計同居人数:337人(本人を除く)

→平均同居人数:2.95人(本人を除く)

生活困窮の実態

→相談時の平均所持金額:15000円 中央値:2000円

→食事が不十分:33人 家賃滞納者数:46人→平均滞納月:1.95ヶ月

→病気あり:61人→医療費滞納者:8人→平均滞納金額:45万円

→生活保護希望世帯数:40世帯

個別事例

クルド人、3人家族(両親、子)、仮放免

現在妊娠中。夫は解体の仕事中に骨折したため働くことができなくなる。労災は適用されていない。子どもを保育園に預けたいが仮放免であるため預けられない。現在は夫婦ともに働けず、所持金はほとんどない。

クルド人、4人家族(両親、子2人)、特定活動

夫の仕事がコロナでなくなる。家賃を2ヶ月分滞納している。子供のおむつ代やミルク代がない。所持金は1万円。

クルド人、6人家族(両親、子4人)、仮放免

夫の仕事がコロナでなくなる。家賃を1ヶ月分滞納している。喘息や頭痛などの持病があるが、保険証がなく病院に行くと10割負担のため診療を躊躇している。過去の受診で20万円以上の医療費未払いがある。子供の学校の給食費などを払えない。食事も十分に取れていない。所持金はほぼゼロ。

難民申請中の外国人への生活保護運用を求めて

- ・外国人には生活保護法の対象外で準用保護
- ・永住者、特別永住者、難民認定者に限定的
→クルド人を含む多くの難民申請中の外国人には生活保護法も準用保護も対象外という現実

11月27日に川口市役所で3人世帯のクルド人

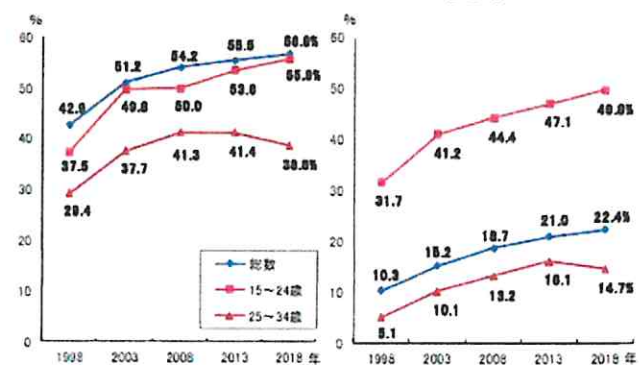
→生活保護準用保護の申請→12月10日却下

→厚生労働省、川口市へのアクション、要望へ

非正規雇用者の割合

女性

男性



「#竹中平蔵つまみ出せ」Twitterデモ
11月29日・30日



首を切れない社員なんて雇えないですよ普通

ワーキングプアの増大 働く世代の福祉対象化

- 単身で暮らす20～64歳の女性の3人に1人が「貧困状態」にある
- 生活の苦しい人の割合を示す「相対的貧困率」が単身女性で**32%**。
(2012年2月8日 日本経済新聞社)

→性風俗店、買春による性暴力、性被害、ポルノ被害の相談、性感染症の増加
コロナ禍で進む女性の商品化、性売買の肯定化

働く親の貧困＝子どもの貧困

- 子どもの相対的貧困率は**13.5%**で高水準
- 17歳以下の子どもの7人に1人、250万人あまりが貧困状態にある。
- 国民の平均的な所得の半分を「貧困ライン」と呼び、その子どもたちが7人に1人。
- 「大人が1人」のひとり親世帯では**48.1%**。
- 依然として約半数が貧困状態にある。
- ちなみに「大人2人以上」の世帯員では**10.7%**。

母子3人世帯【30歳、4歳、2歳】 生活保護基準(2018)

	1級地-1	1級地-2	2級地-1	2級地-2	3級地-1	3級地-2
生活扶助	189,190	183,660	175,400	173,460	166,190	161,890
住宅扶助(上限額)	69,800	44,000	56,000	46,000	42,000	42,000
合計	258,990	227,660	231,400	219,460	208,190	203,890

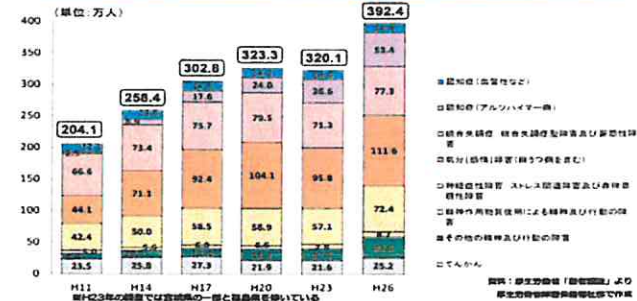
自殺者数の増加

- 男女、子どもなど自殺が増加中の危険社会
- 特に女性の増加率が高い
- 10月の自殺者は2158人で、男性は前年同月比で21.3%増。女性は前年同月比で82.6%増。
- 年齢別では特に20代と40代で増えている。

→もともと精神疾患なども多く、死と隣り合わせ

増え続ける精神疾患の患者

精神疾患を有する総患者数の推移
(疾病別内訳)



とにかくすべきことを臨機応変に

- コロナ感染以前からの日本が抱える問題への対処
- 抑圧、差別構造にある当事者のエンパワメント、権利要求の主体化
- 当事者のアドボカシー、メディア戦略
- 社会運動の組織化と求心力を高めること
- 言論も活用した連帯、助け合いの醸成、自己責任論の打破
- 制度政策への介入圧力を高めていくこと